

浦和大里小コミスクだより

令和7年度 第2号 令和7年10月

猛暑の夏からさわやかな秋に少しずつ移り行き、校庭で活動する児童の声が空高く響くようになりました。去る9月25日（木）、第2回学校運営協議会が開催されました。



浦和大里小学校では、第1回学校運営協議会で承認された「学校運営に関する基本的な方針」に基づき、これまで令和7年度教育活動計画を順次実施に移してきました。地域の皆様と保護者の皆様から多大なご支援とご協力を賜り、お陰をもちまして上半期を無事に終えることができました。第2回学校運営協議会においては、下半期を迎えるにあたり、校長から「学校運営及び取組実践に関する中間報告」を、また、児童から「代表委員会等からの提案」を行いました。これらの概要について、以下にご報告いたします。

令和7年度 第2回学校運営協議会 概要

1 「学校運営及び取組実践に関する中間報告」

（1）文部科学省「全国学力・学習状況調査」（対象：6年生）の結果から

○ 「教科に関する調査」

- ・国語・算数ともに平均正答率はおおむね良好な結果であった。しかし、正答率が低い問題もあった。本調査の結果に関する校内担当部会での分析では、最後の数問は問題文の文章量が多いこと、そのため時間的な余裕をもって取り組めなかつた児童が多いことが主な要因として挙げられる。また、学校・家庭で児童自ら継続的に活字に触れ、親しむこと、実生活で比較的量の多い文章や様々な種類の文章を読むことが今後の課題として考えられる。
- ・本調査の結果を踏まえ、授業の在り方と工夫についてさらに研究を進めていく。

○ 「質問調査」

- ・ほとんどの質問項目に対して肯定的な回答率が高い値となった。自己肯定感を示す「自分には、よいところがあると思う。」という質問をはじめ、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」、「朝食を毎日食べている。」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」、「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」の質問項目は、際立って高い。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」という質問についても、肯定的回率が高く、家庭や学校と地域との望ましい連携により、児童の地域に対する関心が高まっているとともに、地域を大切にしようとする姿勢・態度が培われていると捉える。

(2) 「5つの目標」の取り組み状況

○目標1 「真の学力の育成」

- ・計画的かつ内容を精選した校内研修を実施し、充実してきている。
- ・教員と児童間で評価基準を共有し、客観的で一貫性のある評価を目指すループリックを導入した授業改善に取り組み、児童の主体的な学びに成果が現れている。
- ・市教育委員会指導主事を招聘した専門的な指導方法の伝授の機会を、昨年度以上に増やし、教員の指導力向上を図っている。
- ・総合的な学習の時間や特別活動の授業を大切にし、自分で考え、決める、試行錯誤する活動を積み重ねることで、児童の個々の学力向上を図っている。

○目標2 「WELL-BEING」

- ・児童の「よさ」に着目し、努力を認め、励ますマインドの定着を教員相互で声を掛け合って推進している。
- ・スクールダッシュボード上の情報共有を日常化し、組織記的な児童理解へ活用している。

○目標3 「地域とともにある学校」

- ・総合的な学習の時間の充実により、児童の地域貢献に対する興味関心が高まっている。
- ・地域住民や保護者へのボランティア活動に係る積極的な協力依頼により、各ボランティア組織への登録者数が増加している。

○目標4 「安全で清潔な学校」

- ・安全点検の徹底と即時対応に注意喚起している。
- ・本年度は、危険回避を優先した樹木の伐採・剪定を実施した。
- ・児童の雑巾掛けを基本とした清掃活動の習慣化を図っている。

○目標5 「生き生きと働く教職員集団」

- ・様々な取組により、勤務時間外在校時間数が前年度同期に比べ、傾向にある。
- ・副担任制が機能しつつあり、校務の円滑化が進んでいる。

2 「代表委員会等からの提案」

(1) 代表委員会児童5名による発表

児童会テーマ「笑顔」の主な取組として、「いじめ撲滅運動」、「がんばり宣言バッジ」、「縦割り仲良し活動」の3つを実施してみた。さらに笑顔輝く学校にしたいため、今後、3つの取組を全校で展開したい。さらに、地域の方々と一緒に活動し、交流を深めていきたい。

○「あいさつ運動」

- ・昨年度は内谷中学校の生徒会と合同で実施した。
- ・本年度は、クラス・学年・全校に呼びかけていき、笑顔であいさつを交わせる学校にしたい。
- ・10月15日（水）～17日（金）・11月25日（火）～27日（木）の登校時間帯に正門・北門で実施する予定である。

○「清掃活動」

- ・総合的な学習の時間を中心にSDGsや地域とのかかわりについて学習してきている。
- ・校外に出て、地域の清掃活動を行いたい。

○「ラジオ体操などの『体つくり』につながる運動」

- ・小学校では、体育の授業で「体つくり」に取り組んでいる。
- ・夏休みのラジオ体操のように地域の方々と一緒にできる運動に取り組みたい。

(2) 4年生児童5名による発表

総合的な学習の時間で「街のやさしさ」について学習している。自分達でも「やさしさ」を発揮したくなり、「ぼくもわたしも実行隊」を結成した。次のようなことができたらよいと考えた。

○「やさしさ相談所」の開設

- ・校内に開設し、自分達が1～6年生の悩み事を聴いて、解決方法を提案する。

○「やさしさビンゴ」

- ・1～6年生の悩み事に合わせて取り組むことで悩み事が解消できるようなビンゴを作つて全クラスで行ってもらう。

○「『やさしさ』で溢れる街」

- ・家族や親戚、地域の方々へも「やさしさ」を実行したい。さらに、地域の方々と一緒に「やさしさ」を実行したい。どんなことを実行するか、これから計画を立てていく。

- ・さいたま市や埼玉県、日本全国、全世界へ私たちの「やさしさ」を広げ、この街はとてもやさしい街だと知ってもらい、この街に住みたいという人を増やしたい。みんなでこの街をや

3 「目指す子ども像を実現するための学校・地域・児童の取組」についての熟議

校長の中間報告ならびに代表委員等からの提案に対する質疑応答後、地域・保護者・学校のカテゴリーのグループに分かれて熟議を行いました。そして、各グループから意見や感想等を発表し、全委員で共有を図りました。主なご意見を紹介します。

地域グループです。



○昨年10・11月に自治会で重点的にあいさつ運動を実施した。児童が安心して地域住民とのかかわりながら、あいさつ運動等を行うには、南区の見守りベストや防犯ベストを着用すること等、地元住民が参加していることが分かるようになるとよい。

○第2自治会では第1日曜日に公園等の花壇の手入れをしている。児童が参加する清掃活動は、授業時間内外、学校内外、保険加入の有無等について検討する必要がある。

○実績として、鹿手袋の夏祭りにボランティアとして内谷中学校生徒が多数参加した。自治会の子どもフェスティバルには、児童が約200名参加した。

保護者グループです。



○あいさつ運動はPTAで実施している旗活動の重点ポイントに児童と保護者を配置する方法も考えられる。

○PTA所有の横断旗が300ほどあるので、いずれかの提案に活用できるとよい。

○清掃活動の平日実施は、保護者の参加が難しい。

○ラジオ体操については、運動会の練習等と兼ねてできたらよい。

学校グループです



- あいさつ運動は、まずは児童の発想で実施し、児童が改善しなら広げていくことで、自主性や自発性、社会性がはぐくまれていくと思われる。
- 安全面や地域の方々との関係から考えると、児童の提案を尊重して、まず学校の正門・北門で行い、地域の方々と顔見知りになつたら、次に通学路や公園等の校外に広げていく。
- 清掃活動と体つくり運動もあいさつ運動と同様に安全面と児童の発想を優先したほうがよい。

4 その他、新たに建設されたプールの柵が話題となりました。

- 柵の高さが予想以上に低く、大人は簡単に飛び越すことができ、市民プールと学校との施設の境界に不安がある。
→課業中は警備員が常駐し、安全は十分に確保されている。
- 児童が校庭でボールを使って遊んでいる。そのボールが柵を超えることが予想できる。駐輪場にある市民プール利用者の自転車に当たり、破損した場合等の補償の扱いはどうなるのか。
→市教委と課題を共有する。

なお、当日は、委員が会議の前後を利用して授業や休み時間の学校の様子をみて回りました。また、「第2回いじめ防止対策委員会」を開催し、2学期開始から1ヶ月間の児童の生活の様子ならびにいじめ認知件数と解消状況の説明を行い、早期発見と早期対応・学校と家庭の連携の重要性を再確認しました。

次の第3回学校運営協議会は、令和8年2月の開催を予定しています。